

キリストへの時間

「キリストへの時間」協力委員会報

協力委員会半世紀

「キリストへの時間」協力委員会

委員長 田口 博之

「キリストへの時間」が、米国南長老教会日本ミッション（以下ミッションと記す）のラジオ伝道事業として放送開始されたのが1952年10月のことでした。その後、ミッションの運営方針に変更があり、1968年にミッションと日本キリスト改革派教会と日本基督教団の三者で「キリストへの時間」協力委員会が組織され、放送伝道の主体が協力委員会に移行します。2018年は協力委員会設立半世紀という記念の年となります。

協力委員会が設立された頃の「キリストへの時間」は、CBCをキー局に8つの放送拠点を持ち、1千万円規模の予算で運営を続けていました。そのほとんどがミッションの費用で賄われていましたが、アメリカ本国での教勢低下にドル・ショックが重なり、ラジオ伝道の資金は削減されます。協力委員会は地方の放送を打ち切る決断をすると共に、1976年に百万円目標の献金趣意書を発行します。1978年、ミッションから2,500万円（改革派第33回大会記録のママ）の最終援助金が献げられたことを機に、ミッションから自給独立した放送運営が始まります。CBC一局放送とすることを決断した1983年以降「協力委員会報」を年2回発行し、募金の呼びかけを重ねることになりました。

ミッションの最終援助金も底が付き、募金状況を鑑みても放送の幕引きを考え始めた頃、協力委員会はキリスト教主義の学校に資金協力を求めました。各学校ともその熱意に応えてくださり、1993年に金城学院が、その後名古屋学院、岐阜済美学院が協力委員会に参加することになります。特にミッションと関係の深い金城学院からは格段の援助が続けられています。

2013年に発行した『「キリストへの時間」放送伝道開始60周年記念誌』の資料編に「協力委員一覧」が掲載されています。この記録によれば、25年以上委員として奉仕された方が3名います。改革派教会信徒の長村秀勝兄、S.F. サップ宣教師、日本基督教団の篠田潔先生です。特に長村さんの場合、ミッションの主事の時代を含めれば、まさに半世紀にわたって放送の屋台骨を支えてくださいました。サップ宣教師はマカルピン宣教師の後任としてミッションとの関係を保ち、篠田先生はキリスト教学校との関係を切り開いてくださいました。他にも教団の長津先生、改革派の小野先生など、名前を挙げればきりがありませんが、多くのかたの働きによって放送伝道は続けられています。

私自身も1999年に協力委員会に加わるようになりました。今年で20年目を迎えています。この間委員長を4期8年引き受けることになりました。特別なことは何もしておらず、放送を継続するためのお金の心配ばかりをしていた気がします。したがって、私が会報に何かを書くときには、いつも献金のお願いとなってしまいます。しかし、ただ放送を続けることを目的にしているではありません。

「キリストへの時間」協力委員会規定を以下に抜粋します。

（目的）第2条 本委員会の目的は、聖書において示されているイエス・キリストの福音をマス・コミュニケーションの手段を通して宣べ伝えるためにある。

「福音を宣べ伝えよ」との神の促しに応えるべく、協力委員会は歩んでいきます

「イエス・キリストご紹介」

杉本美由紀

(名古屋キリスト教社会館 チャプレン)

疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。

マタイによる福音書 11 章 28 節

名古屋市南区の社会福祉法人、名古屋キリスト教社会館という福祉施設のチャプレンを務めています杉本美由紀と申します。キリスト教では通常、教会に仕える聖職者を牧師と呼び、教会以外の病院や学校、施設等において宗教的な働きを担う者をチャプレンと呼んでいます。私の場合は、看護師でもあることから、普段は高齢者の介護部門で看護師として働いています。チャプレンとしては、キリスト教精神を土台として創立された法人の理念、使命を、職員、利用者の皆様に広く理解をしていただくために、今日のタイトルにありますように「イエス・キリストご紹介」をしています。これはクリスチャンの割合が 1 パーセントと言われる日本において、私も社会館の職員・利用者の皆様のほとんどの方が、キリスト教について知らないという現状にふさわしいことばであると思います。

こんな風にお話している私自身も、キリスト教の家庭に生まれたわけでもなく、親戚にも知る限りクリスチャンはいない環境で 10 歳まで育ちました。私は大阪出身で 5 年前まで、大阪に住んでいました。私のキリストとの出会いは今から 47 年前にさかのぼります。ちょうど小学校 4 年生の夏休みに、我が家は大阪市内から郊外の住宅地へと引越しをしました。ちょうど同じ日、歩いて 1 分ほどのすぐ近くに、若いキリスト教の牧師夫妻が引っ越して来られました。次の日曜日の朝、住宅地のロータリーで若い夫婦らしき二人連れが、男の人がギターを女の人がアコーディオンを奏でて、何やら歌っている声が聞こえてきたのです。「今から日曜学校を始めますから、いらっしゃい」と集まってきた子どもたちに語りかけ、自宅で開いた伝道所へと招いていたのです。私は少し離れたところから、この光景を眺めていまし

た。たくさん子どもたちがその家へと入って行きました。私も皆など一緒に行ってみたく思いましたが、キリスト教と聞いて、いつか教科書か何かで見た「キリストが張り付けられた十字架」を思い浮かべて、なんだか恐ろしい思いがしてこの時は行きませんでした。当時、子どもたちはたくさんいて、50 人くらい集まっていたと覚えています。その次の日曜日、ご夫妻はギターとアコーディオンを奏でて、子どもたちを招いていました。私は妹と一緒に初めて日曜学校に参加しました。讃美歌を歌って、聖書のお話を聞いて、お祈りがありました。毎回、聖書のみ言葉が書いてあるカードをもらいました。それを暗唱していくとほめていただき、そのカードが 10 枚集まるときれいなカラーのカードがもらえました。それがとても嬉しく、また牧師夫妻の明るく、暖かい人柄にひかれて、皆勤賞をいただくほどに熱心に日曜学校に通いました。日曜学校でイエス様に出会うまで、子どもながら思い悩むことがありました。私は妹との二人姉妹ですが、ある時母から「初め男の子が生まれたが、原因不明で三日で亡くなった」という話を聞きました。その時私は単純に「お兄ちゃんがほしかったわ」と、母に言ったのですが、母は「お兄ちゃんが生きてたら、あんたは生まれてないわ」と言ったのです。なるほど兄が亡くなって、半年ほどで母は私を妊娠したことから考えると、兄が生きていたら私は生まれていなかったことでしょう。そういうことが理解できない子どもの私は、「自分が生きていることが良いのかどうか、私は望まれて生まれてこなかったのではないかと、何か空しい思いが心を占領してしまいました。ですから親や周囲に認められたいという思いで勉強や習い事を頑張り、表面はしっかり者の良い子に見せかけて、心の中はいつも人と比べて優越感や劣等感を抱える、絶えず落ち着かない心配性の子どもでした。

大阪府柏原市の国分クリスチャンセンター、現在

は日本福音教会国分福音教会となっていますが、ここで神様と出会い、17歳で、イエス様を救い主と信じて洗礼（バプテスマ）を受けました。家の教会の入り口の看板には、今日のみ言葉、マタイによる福音書11章28節「すべて重荷を負うて苦労している者は、私のもとにきなさい、あなたがたを休ませてあげよう」（イエス・キリスト）と、聖書の言葉が書かれていました。「どの神様に、どのようにしてお祈りすれば苦しいことから救ってくださるのか」と、幼いころから探し求めていた私を、イエス

様は「わたしのところに来なさい」と招いて下さいました。良い子にならなくても、「重荷を負うて苦労している」そのままの私を招いてくださいました。40年以上たった今も招き続けてくださっています。その神様は独り子イエス・キリストをこの世に与えて、十字架で命を捨てるほどの愛を私に与えて下さったと聖書にあります。今日、すべての人を招かれる神様をあなたにご紹介できたことに、神様に心から感謝いたします。

2017年度「キリストへの時間」会計報告

■貸借対照表<2018年3月31日>

資産の部		負債・基金の部	
【流動資産】	231,336	【流動負債】	11,234
ゆうちょ銀行	226,770	未払い金	11,234
東京三菱UFJ	0	【基金】	0
現金	4,566		0
		経常会計（次期繰越）	220,102
合計	231,336	合計	231,336

■収支計算書（2017年度）

2017年4月1日～2018年3月31日

収入の部	決算	支出の部	決算
日キ教団. 教会献金	346,000	電波料	3,525,120
日キ教団. 個人献金	561,200	フォローアップ費	269,458
改革派. 教会献金	782,567	会報印刷	135,000
改革派. 個人献金	220,422	会場費	2,160
金城学院関係	1,306,600	事務用品費	5,221
名古屋学院関係	500,000	通信費	52,592
岐阜済美学院関係	305,000	水道光熱費	55,846
その他. 利息等	9,008	交通費	110,000
		郵便振替手数料	14,580
小計	4,030,797	小計	4,169,977
前期繰越	359,282	次期繰越	220,102
合計	4,390,079	合計	4,390,079

「献金者」

■学院関係（複数回献金学院を含みます）

金城学院 1,000,000 円	名古屋学院 180,000 円	岐阜済美学院 300,000 円
金城学院みどり野会 300,000 円	名古屋学院大学 320,000 円	中部学院大学・宗教委員会 5,000 円
金城学院高等学校 6,600 円		

■日本基督教団（複数回献金教会を含みます）

小松教会	豊山教会	中京教会	鳴海教会
半田教会	日進教会	熱田教会	御器所教会
豊橋教会	金城教会	西尾教会	敦賀教会
名古屋教会	春日井教会	天白教会	瀬戸永泉教会
尾陽教会	岡崎教会	愛知西地区婦人会連合	愛知教会コーヒーコーナー
刈谷教会	華陽教会	豊田教会	名古屋中央教会
金城教会	名古屋桜山教会	大台めぐみ教会	
守山教会	名古屋北教会		

■日本キリスト改革派教会（複数回献金教会を含みます）

関キリスト教会	津島教会	瑞浪教会	桑名教会
中部中会連合婦人会	大垣教会	春日井教会	犬山教会・姉妹会
中部中会	豊明教会	名古屋岩の上教会	多治見教会・姉妹会
那加教会	四日市教会	尾張旭教会	四日市教会
恵那教会	犬山教会	金沢教会	名古屋教会・姉妹会
高松教会	岐阜加納教会	春日井教会・サマソ会	中部中会・長老会
岐阜加納教会婦人会	八事教会	犬山教会・兄弟会	

■個人献金者（複数回献金者を含みます）

神田輝夫	田口博之	山田詩郎・麻衣子	況 暁麗
岩佐敏志	服部治昭	牧野愛子	尾野光子
足立克己	成瀬伸子	落合建仁	長谷川正一
林 滋	伊藤まり子	石原頼子	馬場伸直・暁美
榎本久美江	津田康裕	尾関 明	三田村苗美
小林成隆	木村艶子	三輪淑子	杉山清美
粟田昌子	町田玲子	中村寿子	吉田晃啓
大島 隆	宮内英夫	加藤順子	家田礼子
小谷治郎	篠田 潔	元吉良子	西堀則男
小森純江	福田忠徳	堀田時男・秀子	石井正治郎
松本勝正	河村輝昭	藤沢礼子	井上文子
野田和子	前田栄子	安達昭子	井上義明
堀江桂子	塚本千寿	村山盛芳	羽野浩雪・環
西川道子	森田皓三	大河内純子	櫻井義之
塚田 昇	奥田英子	中野悦美	青山昭一郎
本間愛子	長津 栄	半田教会有志（56 口）	匿名

『フォローアップ状況』

手紙・葉書	メール	電話	聖書贈呈
(17年) 600通	4049回	164回	24冊
(16年) 545通	3793回	262回	32冊
(15年) 518通	3709回	252回	24冊
(14年) 532通	3493回	268回	15冊
(13年) 588通	3138回	286回	18冊
(12年) 724通	2521回	363回	37冊
(11年) 675通	1847回	211回	29冊
(10年) 595通	954回	319回	36冊
(09年) 528通	902回	485回	38冊
(08年) 577通	918回	456回	77冊
(07年) 614通	318回	458回	75冊



「仕事場便り」

○季節のお便りとともに、信仰の歩み、主にある交わりの恵みをお便りに託していただいて40余年以上になりましたが、今も遠くから、また近くにおられる方から、身近なお便りをいただいております。今は施設におられる方もあり、CBCの電波は届きませんが、開局間もない地方局から聞いた讃美歌515番の調べとお招きの声が、いつも交わりの中に生きていますといわれる方もおられます。三世代の方やお孫さんの進学や就職、伴侶を亡くされた心の寂しさなども綴られていて、祈りに覚えてきた幸いな時を感謝しています。「時間とは恵みの時」なのだと思います。今もお返事を差し上げています。ああもしたかった…。こうもできたのではないかと…と思うことは多々ありますが、「ただ主のために。福音宣教のために」不器用なままに、今も仕事場におります。

○伝道方法に王道なしと、思う時、神様のみ手の導きに感謝するとともに、この事業継続のために、学校、教会、個人の方々の献身と感謝のしるしとして捧げてくださっている寄付金・協力金あつてのラジオ伝道事業です。感謝の言葉しかございません。

○開局間もない当時のCBCのアナウンサーの献身的なご協力、録音の時、修正、訂正のために、その個所の前後を切り取り、声を入れ、繋ぐために切ったテープの修理の技は、今ならDJよろしくテープを巻き戻しながら、あの得体のしれない音を聞き分ける技に似ていて、驚きました。仕上げるためには残業までしてくださいました。

本当に寸分たがわず繋ぎ合わす技には見ていて、ああ職人業だ、と思った時、このような協力の上に成り立ってきた、CBCのラジオ伝動放送「キリストへの時間」であったのだと、ふとその時に戻ることもあります。

○旧名古屋中央教会会堂の北側、バス停のところに空間があり、そこをお借りして、放送番組用の横1メートル50、高さ1メートルの案内のケースがありました。その横には、はがきをはさんだ小冊子を入れるクリアーBOXがあり、週二回冊子の有無確認を総主事のマルペン先生は必ず行っていました。また名古屋中央教会は、讃美歌練習の場として使わせていただきました。そのメンバーから声楽を志された方や市民コーラスで活躍された方もおられ、今は聞けない古いテープにその時々のお思いが残されています。

○今後とも、この事業のご理解とご支援を、お願い申し上げます。

「キリストへの時間」協力委員会・フォローアップ担当 長村秀勝

(2018.5.14 記す)

フォローアップがかわります

2018年7月末をもって、「キリストへの時間」の会計とフォローアップを担当して下さっていた長村秀勝氏が隠退されます。長村氏は「キリストへの時間」を1952年に開始した米国南長老派のJ・マカルピン宣教師に秘書として仕えられ、南長老派の日本伝道の展開に深く関わってこられた方です。具体的には文書伝道（機関紙「つのぶえ」および「聖書研究の友」その他の書籍発行）と放送伝道（「キリストへの時間」）の両者に携わって来られたのです。

マカルピン宣教師夫妻が帰国され、資金援助が途絶えた後も、その志を受け継いで「キリストへの時間」協力委員会の発足に関わり、放送継続に尽力されました。文字通り、80歳を過ぎられるまで「キリストへの時間」を陰になり日向になり支えてこられました。その献身的なフォローアップは、長村氏の代わりなしを印象づけるもので、実際今後、協力委員会のメンバーでは氏のような細やかな担い方は不可能と思われます。そのことをリスナーの方々にもお知らせし、今後は私書箱での応答となりますことをご理解頂きたいと思ひます。

協力委員 横山良樹



「キリストへの時間」放送予定 2018年7月～12月

7月

- 1日 楠本茂貴(名古屋学院 名古屋高校 聖書科教諭) 7日 木下喜也(日本基督教団金城教会牧師)
 8日 大藪博康(名古屋学院 名古屋高校 宗教部長) 8日 木下喜也(日本基督教団金城教会牧師)
 15日 葛井義憲(名古屋学院大学 名誉教授) 21日 横山良樹(日本基督教団半田教会牧師)
 22日 柳川真太郎(名古屋学院大学キリスト教センター職員・伝道師) 28日 横山良樹(日本基督教団半田教会牧師)
 29日 黒柳志仁(名古屋学院大学 国際文化学部 准教授)

8月

- 5日 田中文宏(日本基督教団名古屋桜山教会牧師) 4日 高木総平(岐阜済美学院宗教総主事、中部学院大学宗教主事)
 12日 田中文宏(日本基督教団名古屋桜山教会牧師) 11日 高木総平(岐阜済美学院宗教総主事、中部学院大学宗教主事)
 19日 山田詩郎(日本基督教団名古屋北教会牧師) 18日 志村真(中部学院大学短期大学部宗教主事)
 26日 山田詩郎(日本基督教団名古屋北教会牧師) 25日 西島麻里子(済美高等学校宗教主事)

9月

- 2日 木下裕也(日本キリスト改革派名古屋教会牧師) 2日 二宮創(日本キリスト改革派太田教会牧師)
 9日 木下裕也(日本キリスト改革派名古屋教会牧師) 9日 二宮創(日本キリスト改革派太田教会牧師)
 16日 金原義信(日本キリスト改革派豊明教会牧師) 16日 橋谷英徳(日本キリスト改革派関キリスト教会牧師)
 23日 金原義信(日本キリスト改革派豊明教会牧師) 23日 橋谷英徳(日本キリスト改革派関キリスト教会牧師)
 30日 長谷川潤(日本キリスト改革派四日市教会牧師) 30日 相馬伸郎(日本キリスト改革派名古屋岩の上教会牧師)

10月

11月

12月

「キリストへの時間」協力委員会 編集発行人 田口博之

郵便振替 00880-1-70404・キリストへの時間

キリスト教や聖書についてご質問のあるかた、この放送についてのご意見ご感想のあるかたはかたは、以下にお便りください。また、ご希望の方には新約聖書を無料でお送りいたします。

〒461-8691 名古屋東郵便局私書箱170「キリストへの時間」まで

CBC ラジオ「キリストへの時間」(1053kHz) 毎週日曜日 朝6時30分～6時45分放送